T.sonic™ 620

ユーザーマニュアル

P/N TS512M/1GMP620

Transcend

Exceeding Your Expectations

目次

はじめに

フラッシュ MP3 プレーヤーの新世代製品、トランセンドの **T.sonic™ 620** をご購入いただき誠にありがとうございます。この小さなデバイスは単なる USB フラッシュドライブではありません。USB フラッシュドライブに MP3、AB リピート、ボイスレコーディングの機能、FM ラジオが一緒になっています。USB コネクターを接続するだけで USB ポート搭載のデスクトップやノートブックと大容量のデータを交換することが可能です(Windows 98 はドライバが必要)。**T.sonic™** を使って、音楽ファイルを PC から転送し、再生することができます。A-B リピート機能は、トラックの指定してセクションを連続再生することができ、語学学習ツールに最適です。更に、自身や仲間にメッセージを残したりできるデジタルレコーダーとしてもご利用いただけます。FM ラジオが内蔵されていますので、いつでもお好みのラジオステーションを聞くこともできます。

パッケージ内容

T.sonic™ のパッケージには以下が同梱されています。

- **T.sonic™** MP3 プレーヤー
- イヤホン
- ドライバ CD
- USB 延長ケーブル
- レザーケース
- 単 4 電池 1 本
- クイック操作ガイド

特色

- **T.sonic™** の電源供給には単 4 電池 1 本を使用します。(アルカリ単 4 電池を使用した場合、最大 15 時間の動作が可能です。)
- MP3、WMA、WAV フォーマット対応の MP3 プレーヤー
- デジタルボイスレコーダー
- A-B リピート機能によりトラックの指定したセクションを連続再生することができます。
- 20 の FM チャンネルが設定可能です。また、FM チャンネルを WAV ファイルへ録音することもできます。
- 5 分間又は 10 分間使用が途絶えると自動的に電源オフする機能を備えています。
- ロック機能により、接触による誤動作を防ぎます。
- 鮮明で明るい画面と鮮やかな色彩を提供する有機 LED ディスプレイにより、どんな角度や明るい場所からでも表示内容を確認できます。

- 省エネ機能として自動スクリーンセーバー機能を備えており、ユニットが一定時間アイドリング状態にあるとスクリーンセーバーが起動します。
- 対応 OS: Windows® 98SE、Windows® Me、Windows® 2000、Windows® XP、Mac™ OS 9.0 以降 (USB のドライバをアップデートする必要がある場合があります)、Linux™ kernel 2.4 以降。Windows® 98SE のみ同梱のドライバが必要です。(リカバリー機能は Windows のみ対応しています。)

システム動作環境

USB ポート搭載のデスクトップ又はノートブック

以下のオペレーションシステムのうちいずれか

- Windows® 98SE
- Windows® Me
- Windows® 2000
- Windows® XP
- Mac™ OS 9.0 以降
- Linux™ Kernel 2.4 以降

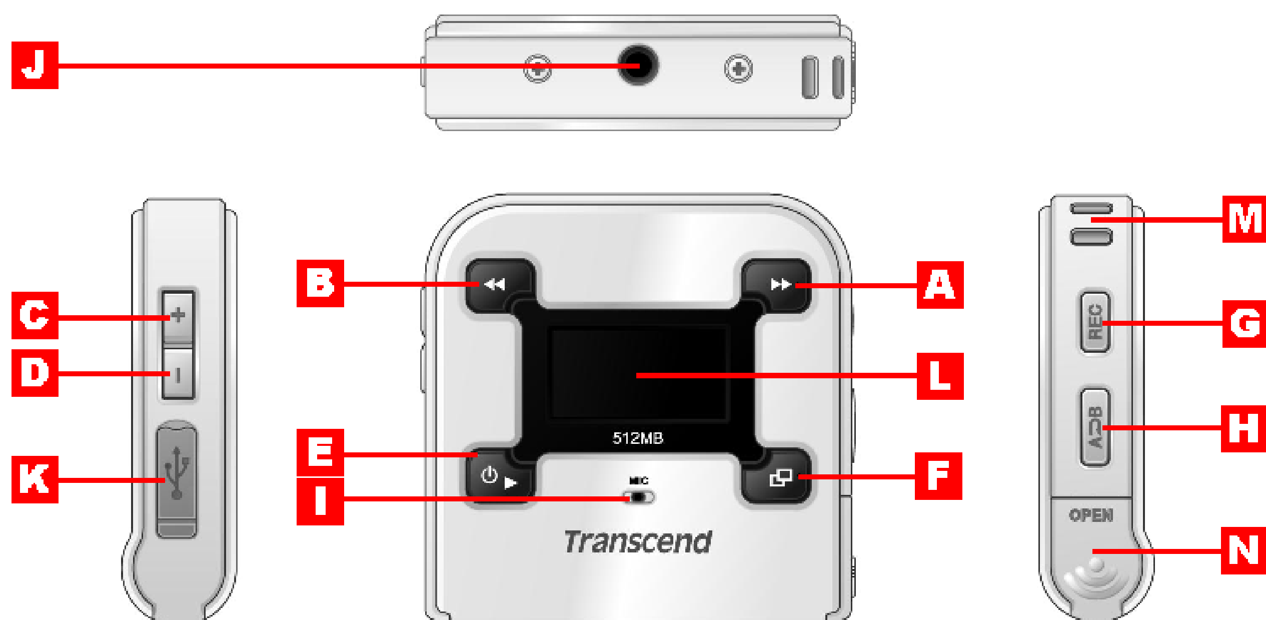
ご使用する前に

1. **T.sonic™** を高熱、直射日光、湿気から避けてください。折ったり曲げたり落としたりしないようご注意ください。
2. **T.sonic™** を取付け/取外しの際は側面をお持ちください。
3. **Windows** の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"を使って **T.sonic™** のフォーマットをしないでください。
4. **T.sonic™** を取り外すときは"**T.sonic™** の正しい取り外し方"の手順に沿って行ってください。

警告: 聴覚障害のリスク

1. 習慣的にヘッドホンやイヤホンを使用し、80 デシベル以上で音楽を聴いていると大きな音でも音量が充分ではないという誤った感覚になることがあります。音量を徐々にコントロールし、耳へのダメージ、リスクを減らしてください。
2. 聴覚を守るために MP3 プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。頭痛、吐き気、聴覚障害などの症状が現れた場合はご使用をやめてください。
3. MP3 プレーヤーの音量は 100 デシベルまでに制限されています。
4. MP3 プレーヤーとイヤホンはウォークマン用のフランス規格に準拠しています。(1998 年 7 月 24 日規定)
5. ヘッドホンを使用する場合は、仕様が付属のイヤホンと同等であるかを確認してください。

製品概要



A **Right (次へ)**ボタン	**H** **A-B** リピートボタン
B **Left (前へ)**ボタン	**I** マイク
C **Up (**音量を上げる**)**ボタン	**J** イヤホンジャック
D **Down (**音量を下げる**)**ボタン	**K** ミニ USB コネクター
E **PLAY** ボタン	**L** 有機 LED ディスプレイ
F **MENU** ボタン	**M** ネックストラップ取付け穴
G **REC** ボタン	**N** バッテリーカバー

有機 LED ディスプレイ表示



アイコン	表示
1 音量	音量を表示します。
2 リピートモード	ノーマル再生、1 曲リピート、全曲リピート、ランダム再生のリピートモードを表示します。
3 EQ (イコライザー)モード	ノーマル、クラシック、ポップ、ロック、ジャズ、ユーザー設定の EQ (イコライザー)モード設定を表示します。
4 A-B リピート	A-B リピート機能の使用時に表示されます。
5 ロック	ロック機能の使用時に表示されます。
6 バッテリー状態	バッテリー状態を表示します。
7 ファイル情報	ファイル/アルバム情報や詳細情報を表示します。
8 オペレートモード	再生、一時停止、早送り、巻戻しのオペレート状態を表示します。
9 ボタン表示	ボタンの機能を表示します。

単 4 電池の取付け方法

 **T.sonic™ 620 MP3**プレーヤーでは単**4**サイズの電池のみがご利用できます。

1. 下図に示すように、**T.sonic™** のバッテリーカバーを開けてください。



2. 単 4 電池(アルカリ電池推奨)1 本を取付け方向に注意して、バッテリーボックスに取り付けます(バッテリーの+極側が見えるように取り付けます)。下図に示すように、バッテリーカバーを閉じてください。



❖ 電源がオンの状態でバッテリーを交換しないでください。デバイスの故障を招く恐れがあります。
❖ **T.sonic™ 620** モデルには電池を充電する機能は搭載されていません。

バッテリーの残量が少なくなると、ディスプレイのバッテリーアイコンが点滅します。録音中であれば録音を停止し、デバイスは自動的にシャットダウンします。単 4 電池の交換については"**単 4 電池の取付け方法**"に従い実施してください。

基本操作

電源オン

PLAY ボタンを長押しして電源を入れます。有機 LED ディスプレイにロゴが現れ、**T.sonic™** が利用可能な状態になります。

T.sonic Family
Initializing.........
Transcend Transcend Transcend
T.sonic 620
VER 1.0 FREE: 256 MB

❖ 電源オンに要する時間は、**T.sonic™** に保存されているファイルの数によって異なります。たくさんのファイルが保存されている場合、**T.sonic™** の電源オンまで、より長い時間がかかります。

電源オフ

PLAY ボタンを長押しして電源を切ります。約 3 秒後に **Power Off Status Bar (電源オフ状態バー)** が有機 LED ディスプレイに現れて電源オフの状態を表示します。**PLAY** ボタンを離すと電源がオフになります。

POWER OFF POWER OFF POWER OFF

トラックの再生

PLAY ボタンを押して、選択した MP3/WMA/WAV トラックを再生します。



トラックの一時停止

トラックの再生中に **PLAY** ボタンを押して一時停止します。



次のトラックへ進む

Right (次へ) ▶ ボタンを押して次のトラックへ進みます。

前のトラックに戻る

Left (前へ) ◀ ボタンを押して前のトラックに戻ります。

早送り

Right (次へ) ボタンを押し続けて早送りします。



巻戻し

Left (前へ) ボタンを押し続けて巻戻しします。



音量を上げる

Up (音量を上げる) ボタンを適度と思われる音量になるまで数回押して調節します。

音量を下げる

Down (音量を下げる) ボタンを適度と思われる音量になるまで数回押して調節します。

1 曲リピート

詳細は、後のページでご説明しております。”音楽機能”の“クイック設定”を参照ください。



全曲リピート

詳細は、後のページでご説明しております。”音楽機能”の“クイック設定”を参照ください。



ランダム再生

詳細は、後のページでご説明しております。”音楽機能”の“クイック設定”を参照ください。



トラック内の一部をリピート(**A-B** リピート)

リピートしたい部分の始まりで **A-B** ボタンを押して、終わりたい部分で再度ボタンを押します。MP3、WMA、WAV トラックのこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。



ロック

A-B ボタンを長押しするか、"設定"の"オートロック"を有効にすることで"ロック"機能をご利用でき、全てのボタン操作は無効になります。



ドライバーのインストール

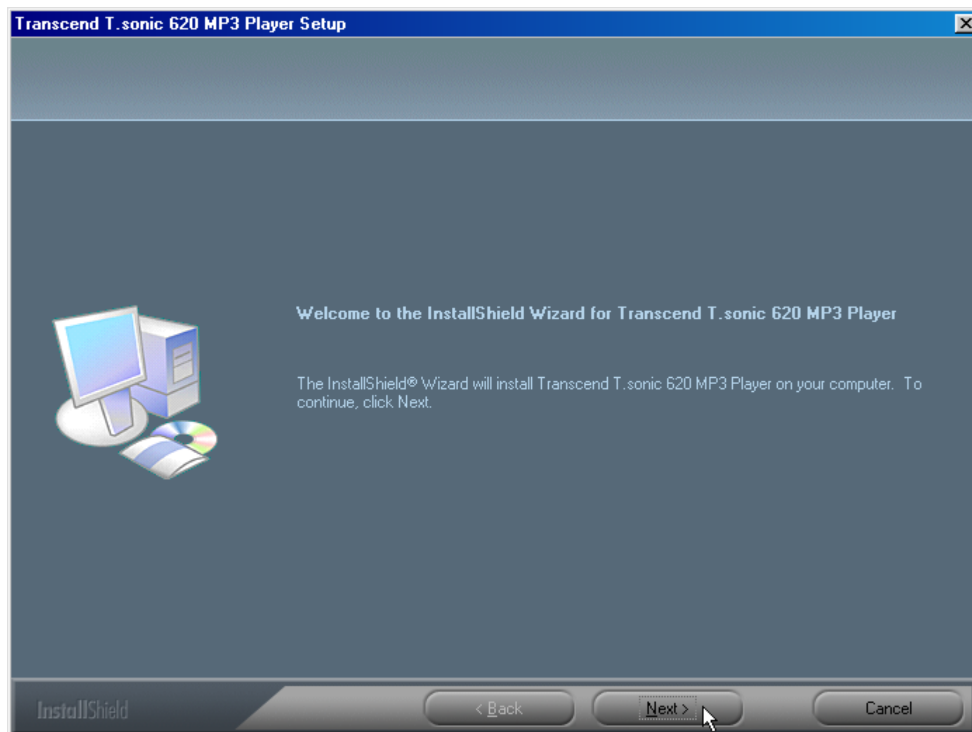
Windows® 98SE へのドライバのインストール

❖ ドライバをインストールする前に **T.sonic™** を USB に接続しないでください。

1. ドライバ CD を CD-ROM (オートラン対応)に挿入します。**Win98 Driver** ボタンをクリックします。

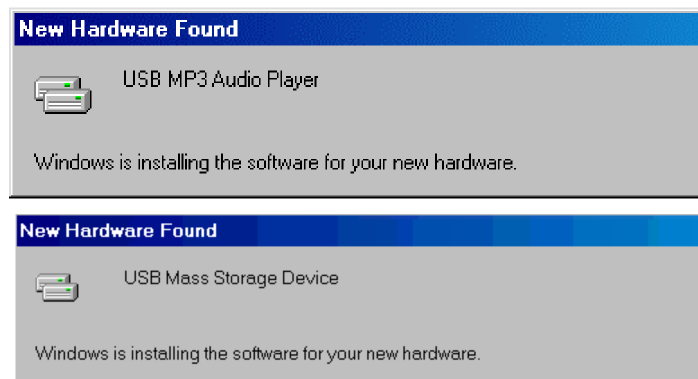


2. **Next** をクリックして続けます。



3. インストールシールドウィザードが現れインストール手順をガイドします。

4. ドライバのインストールが完了後、**T.sonic™** を利用可能な USB ポートに接続します。**[New Hardware Found** (新しいハードウェアを見つけました)]ダイアログボックスが表示されます。



5. コンピュータが自動的に新しいデバイスを認識します。**マイコンピュータ**で、新しい **Removable Disk** (リムーバブルディスク)のドライブが確認できます。

Windows® Me、2000、XP へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。上記 OS 上では **T.sonic™** はデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側でデバイスに必要なファイルをインストールします。**マイコンピュータ**で新しいリムーバブルディスクとしてご確認頂けます。

Mac™ OS 9.0 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側で自動認識します。(USB のドライバをアップデートする必要がある場合があります。)



Linux™ Kernel 2.4 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。ご利用可能な USB ポートに接続します。

例:

1. まず、**/mnt/T.sonic** のディレクトリを作成します。
   mkdir **/mnt/T.sonic**
2. **T.sonic™** を取り付けます。
   mount – a – t msdos **/dev/sda1 /mnt/T.sonic**

ご注意

 **1.** コンピュータに接続している時、**T.sonic™**はファイル転送のみ可能です。この時、フ

ァイルの再生や録音はできません。再生又は録音する場合は、コンピュータから**T.sonic**TMを取り外してからご利用ください。

2. **T.sonic**TM内のファイル/フォルダの損傷を防ぐために、決して**T.sonic**TMを**Windows**でフォーマットしないでください。

3. **T.sonic**TMのルートディレクトリに隠しファイル**"settings.dat"**があります。それを削除しないでください。

4. **T.sonic**TMに保存可能なフォルダ数は最大**50**、音楽ファイル**(MP3/WMA/WAV)**数は最大**450**までに制限されています。

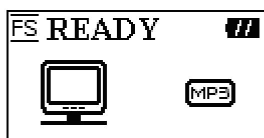
5. **T.sonic**TMでは、ファイル名は半角で**80**字以内に限られています。

音楽機能

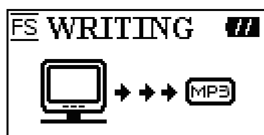
MP3/WMA ファイルのダウンロードとアップロード

1. **T.sonic™** 側面のゴムキャップを開け、内部のミニ USB ポートを確認します。USB ケーブルで **T.sonic™** のミニ USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。

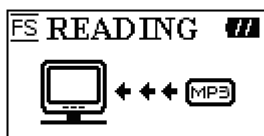
2. マイコンピュータで、新しい **Removable Disk** (リムーバブルディスク)のドライブが確認できます。有機 LED ディスプレイが下記の準備の状態の下記イメージを表示します。



3. ファイル名/アイコンをクリック&ドラッグして、MP3/WMA ファイルをコンピュータから **T.sonic™** のお好みのディレクトリにダウンロードすることができます。有機 LED ディスプレイが下記の ***WRITE*** メッセージを表示します。



4. MP3/WMA ファイルを **T.sonic™** からコンピュータにアップロードする場合は、有機 LED ディスプレイが下記の ***READ*** メッセージを表示します。



5. アップロード/ダウンロードが終了すると、有機 LED ディスプレイは準備状態のイメージに戻ります。

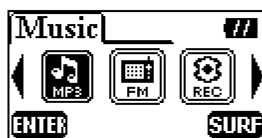
❖ **T.sonic™** は、Mpeg I Layer 3 と WMA ファイルの 32Kbps～320Kbps 圧縮レートのみ対応しています。

MP3/WMA ファイルの再生

1. **PLAY** ボタンを長押しして電源を入れます。初期状態では、ディスプレイは音楽再生機能になっています。



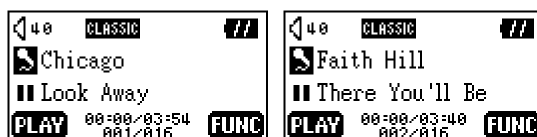
❖ 音楽機能に移動する場合は **Music** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押します。



2. 利用可能な MP3 又は WMA ファイルがない場合、有機 LED ディスプレイに“ **No Files** ”(ファイルがありません)メッセージが表示されます。



3. **Right (Next)** ボタン又は **Left (Previous)** ボタンを押して、お好みの MP3/WMA ファイルを選択します。ファイルはアクセスされた順に表示されています。

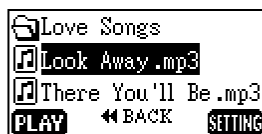


4. **PLAY** ボタンを押して、選択した MP3/WMA ファイルを再生します。

5. **MENU** ボタンを長押しして、機能(音楽再生、ファイル/フォルダナビゲーション、クイック設定)を切り換えます。

ファイル/フォルダナビゲーション

1. 音楽再生機能で、**MENU** ボタンを長押しするとファイル/フォルダナビゲーション機能に切り換わります。



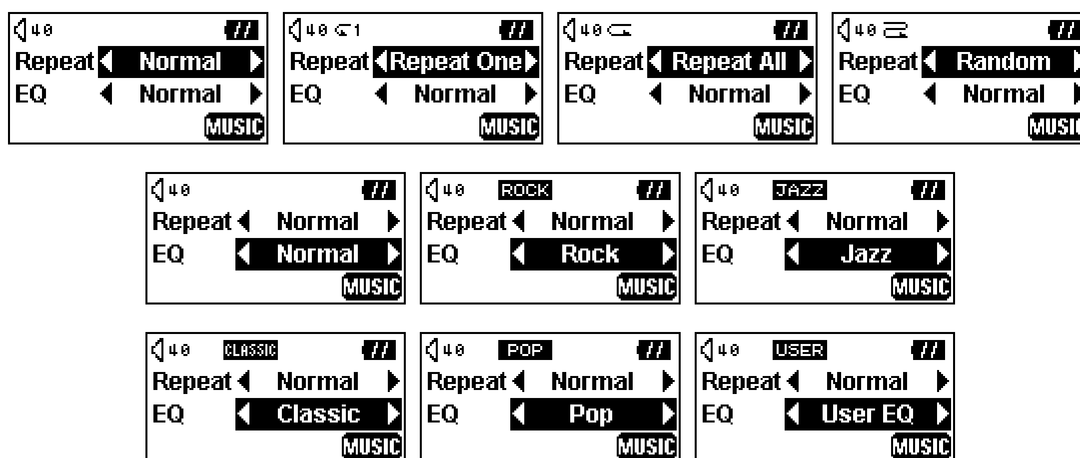
2. **Right (次へ)** ボタン、**Left (前へ)** ボタン、**Up (音量を上げる)** ボタン、**Down (音量を下げる)** ボタンを操作して、お好みの MP3/WMA ファイルを選択します。

3. **PLAY** ボタンを押して、選択した MP3/WMA ファイルを再生します。更に、**MENU** ボタンを長押しするとクイック設定機能に切り換わります。

クイック設定

1. ファイル/フォルダナビゲーション機能で、**MENU** ボタンを長押しするとクイック設定機能に切り換わります。

2. **Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押して、設定項目を選択します。**Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して Repeat (リピート)と EQ (イコライザー)を切り換えます。



❖ お好みのリピートモードを選択します: ノーマル、1 曲リピート、全曲リピート、ランダム

❖ お好みの EQ モードを選択します: ノーマル、ポップ、ジャズ、クラシック、ロック、ユーザーEQ

❖ ユーザーEQ を選択の場合、詳細については"**設定**"の"ユーザー**EQ**"機能の項目を参照ください。

3. **MENU** ボタンを長押しすると音楽機能に戻ります。

A-B リピート機能

トラック内の一部分をリピートするには以下の手順に沿ってください。

1. MP3/WMA/WAV トラックを再生します。

2. **B** ボタンを押し、繰り返したい位置のはじめにタグをつけます。**A** の文字が有機 LED ディスプレイに表示されます。



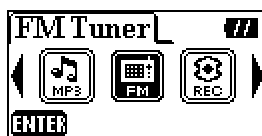
3. **B** ボタンを再度押し、繰り返したい位置の最後にタグをつけます。**A-B** の文字が有機 LED ディスプレイに表示され、タグをつけた部分が繰り返し再生されます。



4. 通常の再生に戻したいときは、**A-B** ボタンを再度押してください。

FM 機能

1. **FM Tuner** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して FM 機能を開きます。



2. 有機 LED ディスプレイに FM ラジオ周波数が表示されます。



3. **MENU** ボタンを押すとメインメニューに移動します。

❖ FM 機能を初めてご使用する場合、全チャンネルは一度オートスキャンされ、20 チャンネルは強い電波を受信した周波数に設定されます。

❖ FM モードの良好な受信のために、イヤホンが **T.sonic™** にしっかりと接続されているか確認してください。

チャンネルスキャン

Right (次へ) ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを一回押してチャンネルを選択します。或いは、**Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを長押しして次のチャンネルをオートスキャンしてください。

チャンネル設定

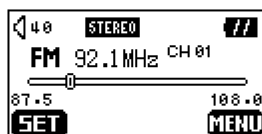
メモリにお気に入りの20チャンネルをCH01からCH20に保存することができます。

1. 始めに保存したいチャンネル(周波数)を選択します。

2. **PLAY** ボタンを押すと、“SET CH”のメッセージがディスプレイに表示されます。

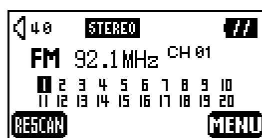


3. **Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押して、お好みのチャンネルステーション(CH01 から CH20)を選択します。**PLAY** ボタンを押すと選択されたチャンネルは選択したチャンネルナンバーに保存されます。**MENU** ボタンを押すとチャンネル設定は中止されます。

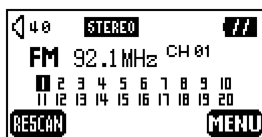


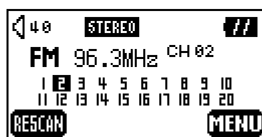
設定したチャンネルの選択

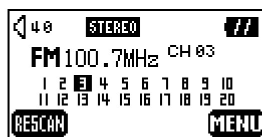
1. **A-B** ボタンを押して、チャンネルモードに切り換えます。

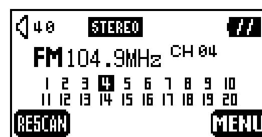


2. **Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押して、お好みのチャンネル(CH01 から CH20)を選択します。









❖ チャンネルモードでは、保存したチャンネル(CH01 から CH20)を選択するか、または **PLAY** ボタンを押すことでプリセットチャンネルのスキャンが行えます。手動で他のチャンネルをスキャンする場合は、チャンネルモード設定に戻ってください。

3. **A-B** ボタンを再び押すとチャンネルモード設定に戻ります。

FM チャンネルの録音

1. 録音したいチャンネルを選択します。
2. **REC** ボタンを 2 秒間押します。
3. **REC** ボタンが一度押されると、選択したチャンネルの録音が始まります。ディスプレイでは **[/FM/]**のフォルダの下に録音している FM ファイルが表示されます。録音ファイル名は **[F0001. WAV]**から始まり、次のファイル名は**[F0002. WAV]**というように順に続きます。



❖ ディスプレイには、全録音時間が現在の録音時間の下に表示されます。
❖ 録音モードでは、スクリーンセーバー機能とオートロック機能は無効となり、省エネとしてスクリーンのコントラストが低くなります。

4. **PLAY** ボタンを押すと録音を一時停止することができ、再び **PLAY** ボタンを押すと再開されます。



5. **MENU** ボタンを押すと、録音を停止し、ディスプレイは録音する前の FM 状態に戻ります。

FM 録音	録音レベル	チャンネル	サンプル周波数	512MB	1 GB
	Low	2 (stereo)	8 KHz	16 hr	32 hr

	Normal	2 (stereo)	16 KHz	8 hr	16 hr
	High	2 (stereo)	32 KHz	4 hr	8 hr

❖ 録音には **T.sonic**TM のメモリ空き容量と十分なバッテリー残量が必要です。

ボイスレコーディング機能

ボイスレコード

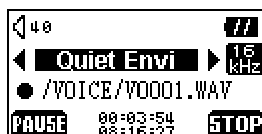
ボイスレコーディング機能で、内蔵マイクを使用してボイスレコードを行います。

1. FM 機能を除き、いずれのモードでも **REC** ボタンを 2 秒間押すとボイスレコードが開始されます。

❖ FM 機能では、**REC** ボタンを 2 秒間押すと FM の録音が開始されます。

❖ 録音モードでは、スクリーンセーバー機能とオートロック機能は無効となり、省エネとしてスクリーンのコントラストが低くなります。

2. 有機 LED ディスプレイの**[/VOICE/]**フォルダの下に保存される録音ファイルが表示されます。録音ファイル名は**[V0001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[V0002. WAV]**というように順に続きます。



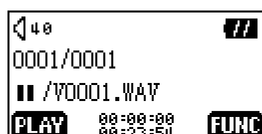
❖ 騒がしい環境でボイスレコードを行う場合、**Right (次へ)** ▶▶ ボタン又は **Left (前へ)** ◀◀ ボタンを押して、**"Noisy Envi"**の録音設定を選択してください。この設定により録音品質を高めることができます。



3. **PLAY** ボタンを押すと録音を一時停止することができ、再び **PLAY** ボタンを押すと再開されます。



4. **MENU** ボタンを押すと、録音を停止し、ディスプレイは録音機能に戻ります。



5. **PLAY** ボタンを押すと録音されたファイルが再生され、**MENU** ボタンを長押しするとファイル/フォルダナビゲーションやクイック設定機能に移動します。(詳細については音楽機能の"**ファイル/フォルダナビゲーション**"や"**クイック設定**"の項目を参照ください。)

❖ 十分な電源があれば: 512MB メモリでは最大 32 時間のボイスレコードの保存が可能です。
1GB メモリでは最大 64 時間のボイスレコードの保存が可能です。

	録音レベル	チャンネル	サンプル周波数	512MB	1 GB
ボイスレコード	Low	1 (mono)	8 KHz	32 hr	64 hr
	Normal	1 (mono)	16 KHz	16 hr	32 hr
	High	1 (mono)	32 KHz	8 hr	16 hr

❖ 録音には **T.sonic™** のメモリ空き容量と十分なバッテリー残量が必要です。
❖ 録音品質を高めるには、**T.sonic™** のマイクを音源に近づけてください。

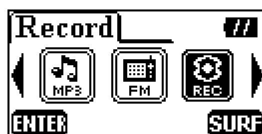


録音中は、スクリーンセーバー機能は無効となります。

録音ファイルの再生

FM ラジオやマイクから録音したファイルを再生します。

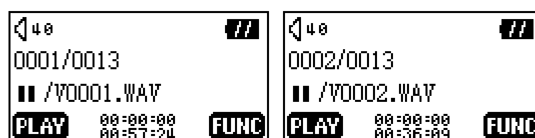
1. **Record** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して録音機能を開きます。



2. 利用可能な MP3 又は WMA ファイルがない場合、有機 LED ディスプレイに " **No Files** "(ファイルがありません)メッセージが表示されます。



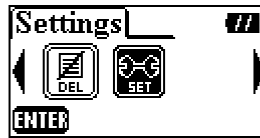
3. **Right (次へ)** ▶▶ ボタン又は **Left (前へ)** ◀◀ ボタンを押して、お好みの録音ファイルを選択します。



4. **PLAY** ボタンを押すと録音されたファイルが再生され、**MENU** ボタンを長押しするとファイル/フォルダナビゲーションやクイック設定機能に移動します。(詳細については音楽機能の"**ファイル/フォルダナビゲーション**"や"**クイック設定**"の項目を参照ください。)

設定

Setting アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して設定メニューを開きます。



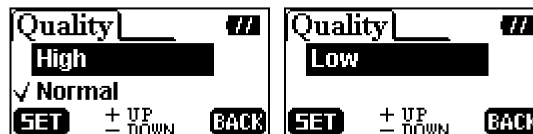
録音品質

録音品質を NORMAL、HIGH、LOWのいずれかに設定することができます。高い音質にするほどより大きな保存領域が要求されます。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **REC Quality** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、録音品質を選択し、**PLAY** ボタンを押して録音品質レベルを保存します。選択されたレベルにはチェックマークが表示されます。



3. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

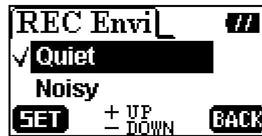
録音環境

ご利用になる録音環境(Quiet [静か]又はNoisy [騒がしい])に合わせて設定してください。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **REC Quality** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、録音環境を選択し、**PLAY** ボタンを押して設定を保存します。選択された環境にはチェックマークが表示されます。



3. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

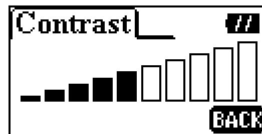
コントラスト

有機LEDディスプレイのコントラストを設定します。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **Contrast** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、コントラストの設定を変更します。



3. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

言語

MP3/WMAファイルのファイル名やID3(ID3はタイトルやアーティスト等のミュージックファイルについての情報をテキスト情報で提供します)タグ/ファイルの表示に対応するため言語オプションを設定します。MP3/WMAファイルのID3タグ/タイトルが存在する場合、それらが始めに表示されます。そうでない場合、ファイル名が表示されます。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **Language** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、言語を選択し、**PLAY** ボタンを押して言語設定を保存します。 選択された言語にはチェックマークが表示されます。

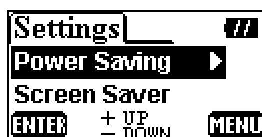


3. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

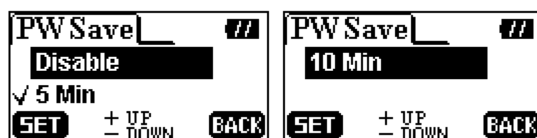
パワーセーブ

T.sonic™が自動的にオフになる時間を設定します。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **Power Saving** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定時間を選択し、**PLAY** ボタンを押してパワーセーブ時間を保存します。選択された時間にはチェックマークが表示されます。

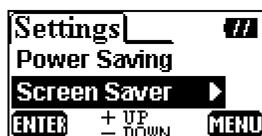


3. **5 MIN** 又は **10 MIN** を設定した場合、**T.sonic™** は 5 分又は 10 分間使用(音楽再生)がなかった時に自動的にオフになります。**DISABLE** (無効にする)を設定した場合、**T.sonic™** が自動的にオフになることはありません。
4. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

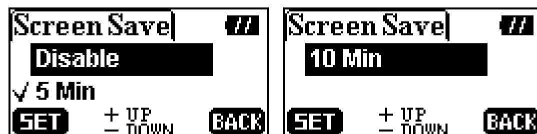
スクリーンセーバー

有機LEDディスプレイにスクリーンセーバーが起動する時間を設定します。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **Screen Saving** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定時間を選択し、**PLAY** ボタンを押してスクリーンセーブ時間を保存します。選択された時間にはチェックマークが表示されます。



3. **1 MIN** 又は **5 MIN** を設定した場合、**T.sonic™** は 1 分又は 5 分間使用(ボタン操作)がなかった時に自動的にスクリーンセーバーが起動します。どれかのボタンを押すことでスクリーンセーバーを解除できます。**DISABLE** (無効にする)を設定した場合、スクリーンセーバーが自動的に起動することはありません。

4. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

 録音中は、スクリーンセーバー機能は無効となります。

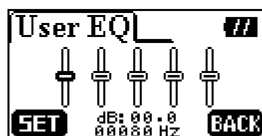
ユーザーEQ

ユーザーEQの設定モードでは、イコライザーを調整してお好みのサウンドを設定できます。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **USER EQ** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押して、周波数帯(80/250/1K/4K/12KHz)を切り換え、**Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、-14dB から+14dB 間でイコライザーレベルを 0.5dB 単位で設定します。

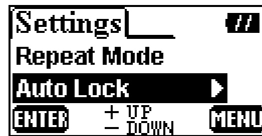


3. **PLAY** ボタンを押して、調整したイコライザーをユーザーEQ として保存します。**MENU** ボタンを押すと設定メニューに戻ります。

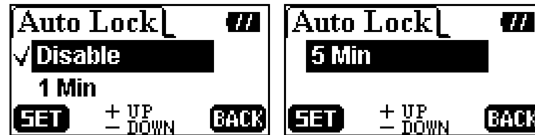
オートロック

デバイスボタンが自動的にロックされる時間を設定します。

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **Auto Lock** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、設定画面を開きます。



2. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定時間を選択し、**PLAY** ボタンを押してオートロック時間を保存します。選択された時間にはチェックマークが表示されます。



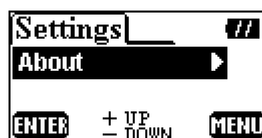
3. **1 MIN** 又は **5 MIN** を設定した場合、**T.sonic**™ は 1 分又は 5 分間使用(ボタン操作)がなかった時に自動的にデバイスボタンがロックされます。**DISABLE** (無効にする)を設定した場合、デバイスボタンは自動的にロックされることはありません。



4. オートロック機能が有効になっている場合、**A-B** ボタンを長押しして、ロックを解除することができます。
5. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

情報

1. **Up (音量を上げる)** ボタン又は **Down (音量を下げる)** ボタンを押して、設定メニューの **About** アイコンを選択し、**PLAY** ボタン又は **Right (次へ)** ボタンを押して、画面を開きます。



2. **T.sonic**™ のファームウェアのバージョンと利用可能な空き容量が有機 LED ディスプレイに表示されます。

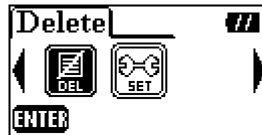


3. **MENU** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押すと、設定メニューに戻ります。

MP3/WMA/WAV ファイルの削除

MP3/WMA 又は録音ファイルを削除します。

1. **MENU** ボタンを押して、メインメニューを開きます。**Delete** アイコンを選択し、**PLAY** ボタンを押して、削除機能を開きます。

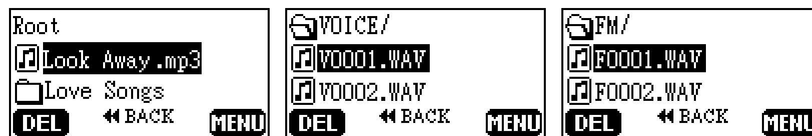


2. **Right (次へ)** ボタン又は **Left (前へ)** ボタンを押して、削除したいファイルの種類を選択し、**PLAY** ボタンを押します。



❖ 音楽ファイル(MP3 or WMA)を削除する場合、**MUSIC FILES** を選択します。
❖ ボイスレコードファイル(WAV)を削除する場合、**VOICE FILES** を選択します。
❖ FM 録音ファイル(WAV)を削除する場合、**RADIO FILES** を選択します。

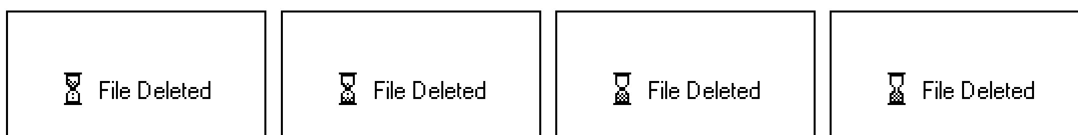
3. **Right (次へ)** ボタン、**Left (前へ)** ボタン、**Up (音量を上げる)** ボタン、**Down (音量を下げる)** ボタンを押して、ファイル(MP3/WMA/WAV)を選択し、**PLAY** ボタンを押して削除します。



4. **PLAY** ボタンを押した後、"**Delete? (削除しますか?)**"のメッセージが有機 LED ディスプレイに表示されます。**PLAY** ボタンを押すと削除を確認し、**MENU** ボタンで中止します。



5. "**YES**"を選択すると、削除が開始されディスプレイは以下のメッセージを表示します。



❖ たくさんのファイルを削除する場合は、より時間がかかります。
❖ MP3/WMA/WAV オーディオファイル以外の形式ファイルの削除に **T.sonic™** は対応していません。他の形式ファイルを削除したい場合は、コンピュータで行ってください。
❖ **T.sonic™** は MP3/WMA/WAV オーディオファイルのみを削除できます。

6. **MENU** ボタンを押すと、メインメニューに移動します。

T.sonic™ の正しい取り外し方



T.sonic™を取り外す前に、有機LEDディスプレイが*READ/WRITE*の状態でないことを確かめてください! この時にT.sonic™を外すとファイルやT.sonic™自体にダメージを与える要因になります。

Windows® 98SE から T.sonic™ を取り外すには

データが転送されていないときに **T.sonic™** をシステムより取り外してください。

Windows® Me、2000、XP から T.sonic™ を取り外すには

1. システムトレイにある アイコンを選択してください。
2. **Safely remove Hardware** というポップアップメニューが現れます。クリックして続けます。



3. **'USB Mass Storage Device'** デバイスは安全にシステムから外すことができますというメッセージボックスが現れます。



Mac™ OS から T.sonic™ を取り外すには

T.sonic™ のディスクアイコンをドラッグ＆ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートから **T.sonic™** を外してください。

Linux から T.sonic™ を取り外すには

umount /mnt/ T.sonic を実行し、デバイスを外してください。

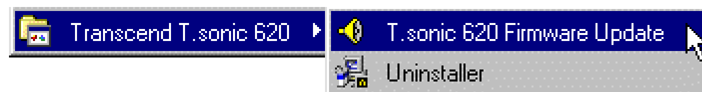
T.sonic™ のリカバリー

T.sonic™ が動作しなくなった場合、リカバリープログラムを使って初期設定に戻すことができます。また、この機能を使いファームウェアをアップデートすることもできます。

❖ リカバリープログラムを起動すると **T.sonic™** にあるデータは全て消去されます。
❖ **T.sonic™** のフラッシュメモリチップに不良ブロックがあった場合､リカバリープログラムを実行後は **T.sonic™** のメモリサイズが元のメモリサイズより小さくなります。

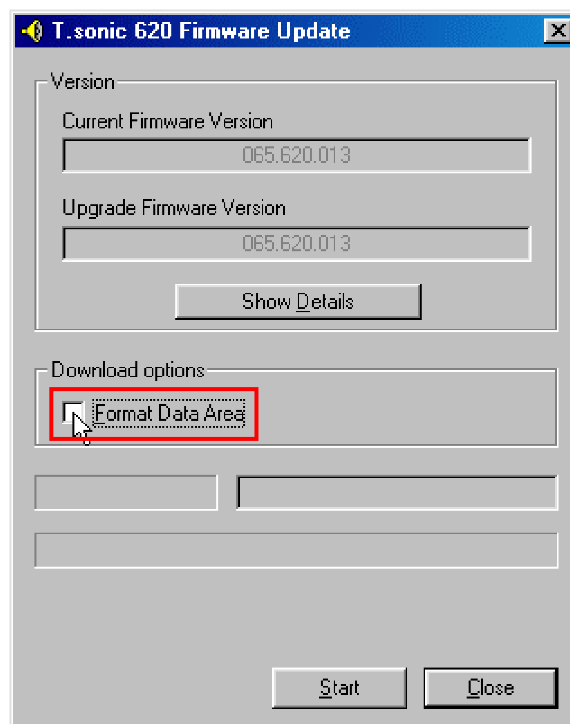
Windows® 98SE での T.sonic™ のリカバリー

1. **T.sonic™** からバッテリーを取り出し、コンピュータの利用可能な USB ポートに接続してください。タスクバーにある **Start** ボタンをからプログラム**> Transcend T.sonic 620 >> T.sonic 620 Firmware Update** を選択して **T.sonic 620 Firmware Update** プログラムを起動させます。

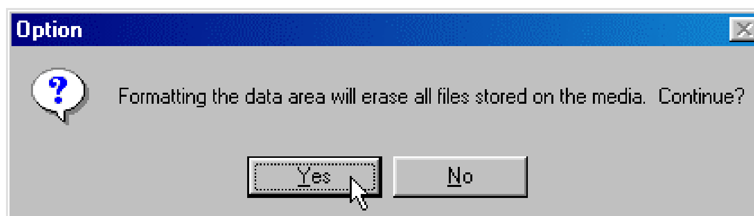


❖ Windows 98SE ドライバのインストールが済んでいない場合は、始めにインストールしてください。

2. **T.sonic 620 Firmware Update** ダイアログボックスが現れます。

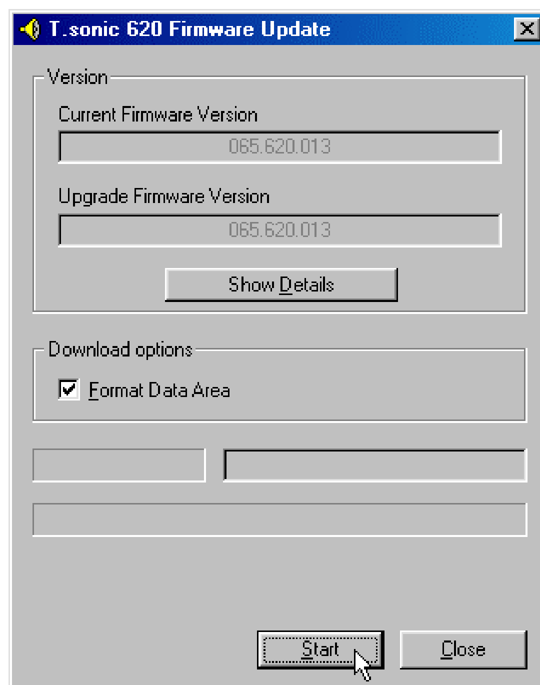


3. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックを入れます。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** をクリックして続けてください。

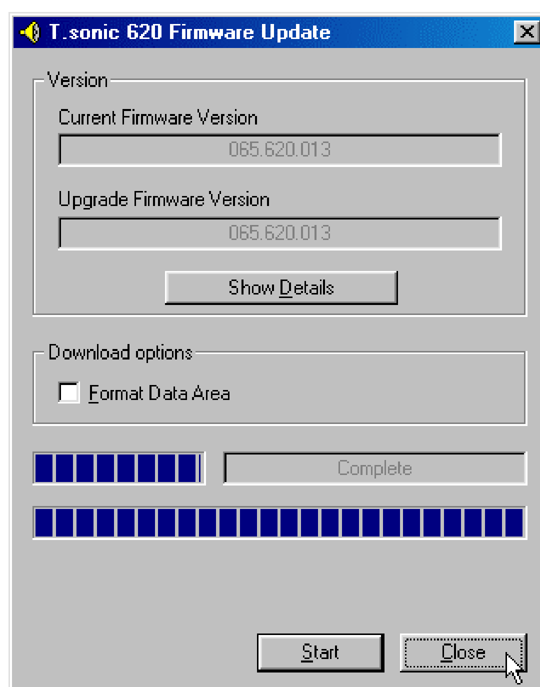


❖ このプログラムを起動すると **T.sonic™** にあるデータは全て消去されます。始めに **T.sonic™** 内の全てのデータをバックアップしてください。

4. **Start** をクリックしてファームウェアのアップデートを開始してください。



5. **Complete** メッセージが現れます。**Close** をクリックしてリカバリーを完了します。**T.sonic™** は初期状態に戻ります。



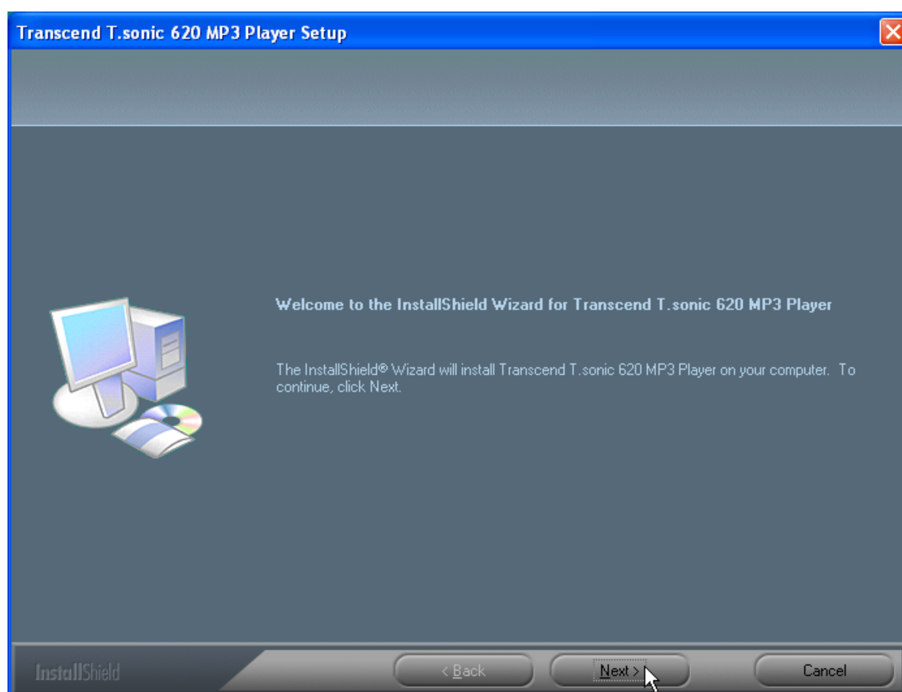
Windows® Me、2000、XP での T.sonic™ のリカバリー

❖ リカバリープログラムがすでにインストールされている場合は、1〜3 のステップは省略してください。

1. ドライバ CD を CD-ROM (オートラン対応)に挿入し、**T.sonic™** スプラッシュスクリーン上の **Recovery** ボタンをクリックします。

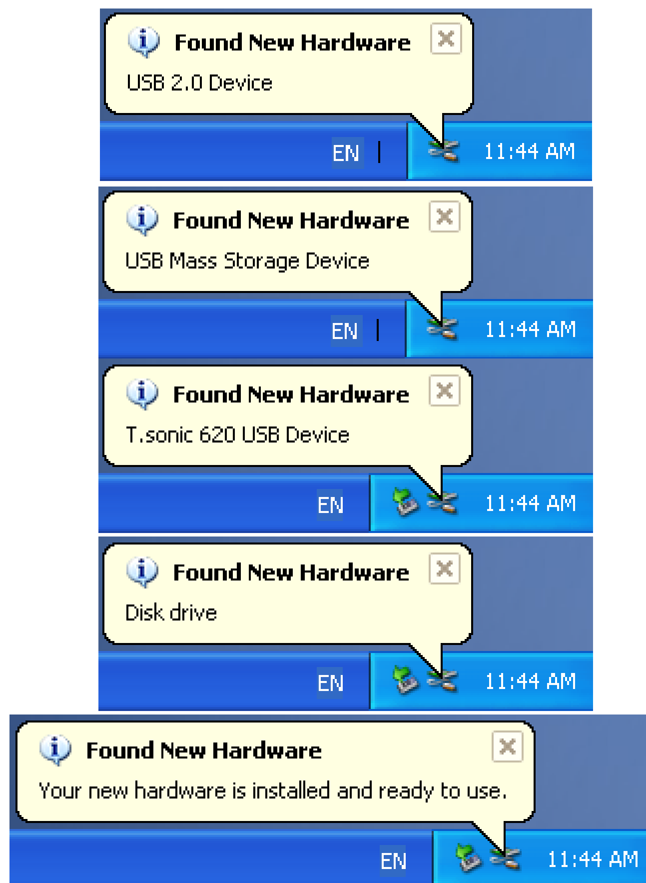


2. **Next** をクリックして続けます。

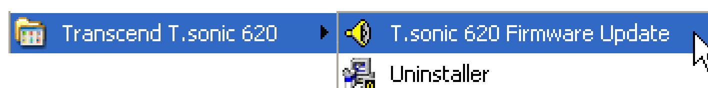


3. インストールシールドウィザードが起動しますので、ディスプレイの指示にしたがってインストールを実行してください。

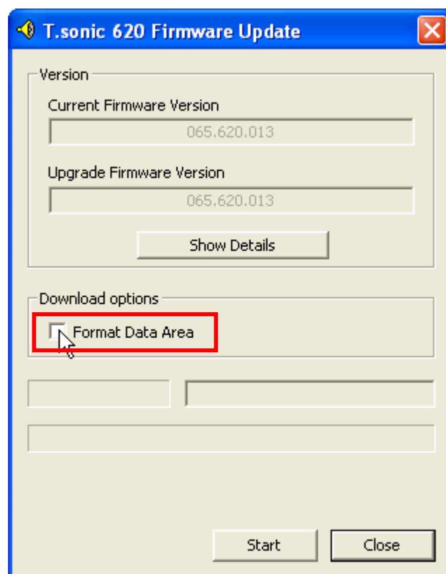
4. **T.sonic™** からバッテリーを取り出し、利用可能な USB ポートに接続してください。
5. **New Hardware Found** (新しいハードウェアがみつかりました)というメッセージが表示されます。



6. タスクバーにある start ボタンをからプログラム> **Transcend T.sonic 620 >> T.sonic 620 Firmware Update** を選択して **T.sonic 620 Firmware Update** プログラムを起動させます。



7. **T.sonic 620 Firmware Update** ダイアログボックスが現れます。

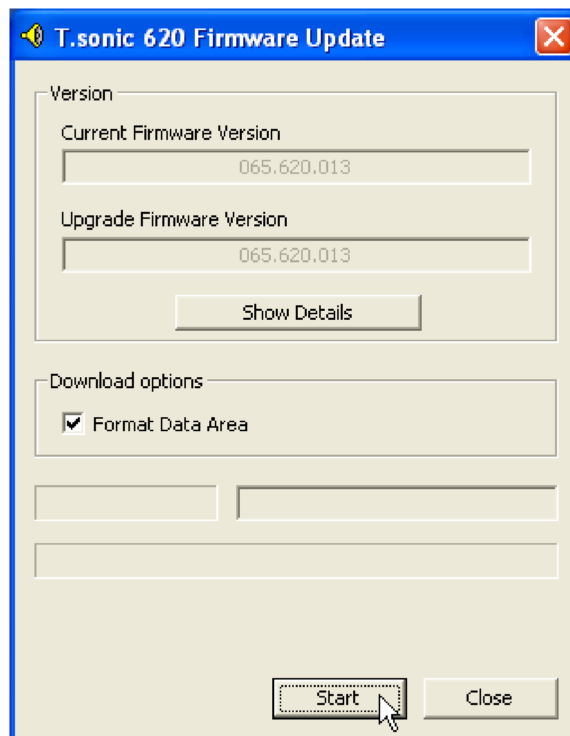


8. **Format Data Area** のチェックボックスにチェックを入れます。**Option** メッセージボックスが現れます。**Yes** をクリックして続けてください。

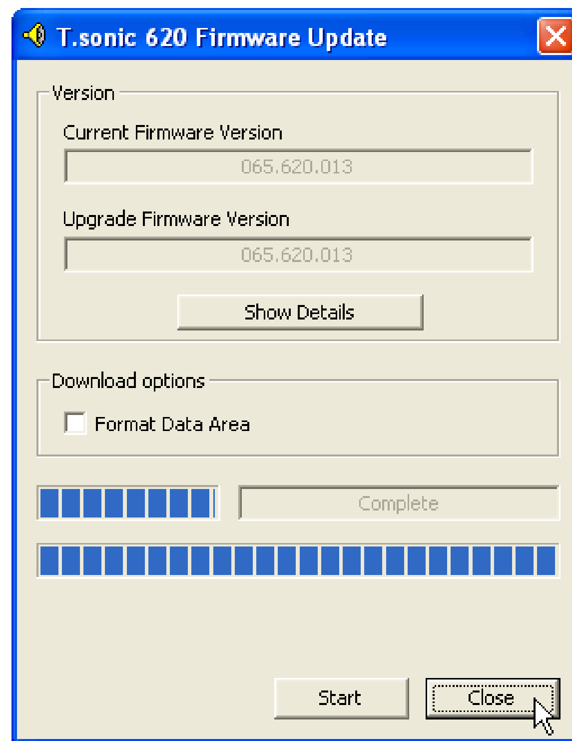


❖ このプログラムを起動すると **T.sonic™** にあるデータは全て消去されます。始めに **T.sonic™** 内の全てのデータをバックアップしてください。

9. **Start** をクリックしてファームウェアのアップデートを開始してください。



10. **Complete** メッセージが現れます。**Close** をクリックしてリカバリーを完了します。**T.sonic™** は初期状態に戻ります。


T.sonic 620 Firmware Update
Version
Current Firmware Version
065.620.013
Upgrade Firmware Version
065.620.013
Show Details
Download options
Format Data Area
Complete
Start
Close

ファンクション MENU ツリー

■ 音楽 > "ENTER"を押す

- 音楽再生 > "PLAY"を押す
- ファイルリスト > "FUNC"を長押し(1 秒間)
- クイック設定 > "FUNC"を長押し(2 秒間)

■ FM > "ENTER"を押す

- チャンネルスキャン > / を押す
- チャンネルの設定 > "SET"を押す >> "SAVE"を押
- 設定したチャンネルの選択:

  > "A-B"を押す >> / を押す

  >>> "A-B"を押す
- FM の録音 > "REC"を長押し >> "STOP"を押す

■ 録音 > "ENTER"を押す

- 録音 > "PLAY"を押す
- ファイルリスト > "FUNC"を長押し(1 秒間)
- クイック設定 > "FUNC"を長押し(2 秒間)

■ ロック > "A-B"を長押し(2 秒間)

■ 録音 > "REC"を長押し(2 秒間)

■ 削除 > "ENTER"を押す

- 音楽ファイルを削除 > "DEL"を選択する

  >> "NO/YES"を選択する
- ボイスファイルを削除 > Press "DEL" >>
- ラジオファイルを削除:

  > "DEL"を選択する

  >> "NO/YES"を選択する

■ 設定 > "ENTER"を押す

- 録音品質 > を押す>> "SET"を押す
- 録音環境:

  > を押す >> "SET"を押す
- コントラスト > を押す >> / を押す
- 言語 > を押す >> / を押す

  >>> "SET"を押す
- パワーセーブ > を押す >> / を押す

  >>> "SET"を押す
- スクリーンセーバー > を押す

  >> / を押す

  >>> "SET"を押す
- ユーザーEQ > を押す >> / を押す

  >>> / を押す
- オートロック > を押す >> / を押す

  >>> "SET"を押す
- 情報 > を押す

トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。

Windows でドライバ CD がオートランになりません

コントロールパネルにあるデバイスマネージャーをクリックして CD-ROM ドライブのオートラン機能を有効にしてください。もう 1 つの方法としてはドライバ CD から **T.sonic.EXE** を手動で実行することができます。

OS が T.sonic™ を認識しません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™** が正しく USB ポートに接続されていますか? 接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. **T.sonic™** が Mac キーボードに接続されていませんか? 接続されている場合は、キーボードから取り外して Mac デスクトップの USB ポートに接続してください。
3. その USB ポートは利用可能ですか? 利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。
4. 必要なドライバがインストールされていますか? ご使用のコンピュータが Windows 98SE の場合は、ドライバ CD からドライバをインストールしなければなりません。**T.sonic™** をご使用になる前に"**Windows® 98SE** へのドライバのインストール"を参照してドライバのインストールを完了してください。また、Win ME/2000/XP、Mac OS 9.0 以降、Linux kernel 2.4 以降にはドライバは必要ありません。
5. **T.sonic™** のバッテリーは残っていますか? 残っている場合は、一度取り外してから再度取り付けてください。

電源が入りません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™** がコンピュータに接続されていませんか? その場合は、取り外してください。
2. バッテリーが正しい向きで取り付けられていますか? そうでない場合は、バッテリーを正しい位置(方向)に取り付け直してください。
3. バッテリーが空になっていませんか? その場合は、新しいものと交換してください。

T.sonic™ へ MP3/WMA ファイルをダウンロードできません

ドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。それでも直らない場合は、**T.sonic™** のリカバリーを参照して **T.sonic™** をフォーマットしてください。

ボタンを押しても動きません

ホールドアイコンが表示されていないか画面で確認してください。その場合は、**A-B** ボタンを長押しして解除してください。

トラックを再生して聴けません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™** のルートディレクトリーに MP3 又は WMA ファイルがありますか? ない場合は、まず始めにコンピュータ又はインターネットからミュージックファイルを転送する必要があります。(32Kbps–320Kbps のレートで圧縮された Mpeg I レイヤー3 と WMA ファイルのみに対応しています)
2. イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続されていますか? そうでない場合は、接続しなおしてください。
3. 音量は適当ですか? そうでない場合は、**Up (音量を上げる)** ボタンを押して音量を調節してください。

トラック名がディスプレイに正しく表示されません

1. **T.sonic™** では英語が初期言語に設定されています。始めに言語設定を行ってください。
2. ID3 タグの情報が優先的にディスプレイに表示されます。ID3 タグは Windows Media Player や Winamp を使用して修正できます。
3. ID3 タグが空の場合、ファイル名がディスプレイに表示されます。

録音モードを利用できません

録音ファイルを保護するために、2 つのメカニズムがあります。

1. バッテリーの残量が全体の 10%より少ない場合は、録音モードを開くことができません。
2. 録音中に、バッテリーの残量が全体の **10%**より少なくなった場合は、録音は自動的に保存されます。

トラックの再生サウンドが断続的にとぎれます

イヤホンをジャックに接続し直して、正しく接続されているか確認してください。

ボリュームが小さくなっていきます

バッテリーの残量が少なくなっているときに発生します。バッテリーを新しいものに替えてください。

T.sonic™ が自動的にオフします

T.sonic™ にはパワーセーブ機能があります。**T.sonic™** が 5 又は 10 分間アイドリング状態(音楽再生やラジオを除く)にあるとパワーセーブ機能が起動し、自動的に電源がオフになります。**"パワーセーブ"**の項目を参照して、設定を変更してください。

T.sonic™ へコピーしたファイルが見つけられません

再度ファイルをコピーし、コピーが完了後に、**"T.sonic™** の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™** を取り外してください。

削除したはずのファイルがまだあります

再度ファイルを削除し、削除が完了後に、**"T.sonic™** の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™** を取り外してください。

T.sonic™ が自動的に **OS** から外されてしまいます

この問題は **T.sonic™** を USB ポートに接続中、**PLAY** ボタンを押したときに発生します。**T.sonic™** を USB ポートから取り外し、再度取り付け直してください。

Windows でフォーマットした後 **T.sonic™** が使用できません

Windows の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"オプションを使ってフォーマットをすると **T.sonic™** のデフォルトフォーマットを壊してしまいます。デフォルトフォーマットを取り戻すには以下のリンクを参照し、**T.sonic™** のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。www.transcend.co.jp

仕様

• サイズ:	57 mm × 57 mm × 14 mm
• 重量:	36g (バッテリーを除く)
• データ保存期間:	最大 10 年
• SN 比:	90dB
• 出力周波数:	20Hz～20KHz
• 推定バッテリー寿命:	15 時間(アルカリ単 4 電池 1 本を使用の場合)
• オーディオフォーマット:	MP3、WMA
• 録音フォーマット:	ADPCM (WAV)
• 圧縮率:	32Kbps～320Kbps
• 認証:	CE、FCC、BSMI

ご注文情報

メモリ容量	トランセンド製品番号
512MB	TS512MMP620
1GB	TS1GMP620

T.sonic™ 保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの **T.sonic™** が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンド製品の保証は購入日から特定の期間内で有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの **T.sonic™** は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。この制限は、適用法令外やその法令が強制されない範囲では適用されません。

おねがい

- 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。返送時は弊社負担ですが送られるときは送料をご負担ください。
- 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問合せください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から 30 日以内に製品登録を行ってください。
http://www.transcend.co.jp/registration

Transcend
Exceeding Your Expectations

Transcend Information, Inc.

www.transcend.co.jp